

6科人政第10号  
令和6年6月11日

各機関 担当者 各位

文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課長

生田知子

令和7年度版学習資料「一家に1枚」の企画・監修者募集について(依頼)

文部科学省では、国民の皆様が科学技術に触れる機会を増やし、科学技術に関する知識を適切に捉えて柔軟に活用いただくことを目的として、平成17年より毎年、学習資料「一家に1枚」を制作しており、令和7年4月の第66回科学技術週間に向けて、21種類目の学習資料「一家に1枚」を制作することとなりました。

については、下記により令和7年度版学習資料「一家に1枚」の企画及び監修をしていただく方を募集いたします。御応募いただける場合は、別添応募要領をご確認いただき、期限までに人材政策課の下記メールアドレスまで必要書類を御提出願います。

記

期 限： 令和6年7月15日(月)18時必着(締切厳守)  
提 出 先： 文部科学省科学技術・学術政策局 人材政策課 科学技術社会連携係  
(〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2)  
メールアドレス： stw@mext.go.jp  
応募要領等： 別紙のとおり

担当： 文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課  
科学技術社会連携係 滝沢、井上、赤松  
電話：03-6734-4190  
E-Mail：stw@mext.go.jp

## 令和7年度版学習資料「一家に1枚」企画・監修者募集 応募要領

### 1. 学習資料「一家に1枚」とは

文部科学省では、国民の皆様が科学技術に触れる機会を増やし、科学技術に関する知識を適切に捉えて柔軟に活用いただくことを目的として、平成17年度より、学習資料「一家に1枚」を制作しています。

(過去20作の「一家に1枚」については「参考1」及び以下URLを参照

<https://www.mext.go.jp/stw/series.html>)

(参考) 学習資料「一家に1枚」シリーズの第1作である「一家に1枚 元素周期表」は、玉尾皓平先生(京都大学 名誉教授)の「美しくかつ豊富な情報を含んだ周期表を各家庭に普及させ、身の回りのものは全て元素からできていること、そして科学技術の発展とその恩恵をふだんの日常生活の中で広く認識してもらえたい」との思いから生まれました。

#### ◇これまでの学習資料「一家に1枚」シリーズの基本コンセプト

- ① 見た目にインパクトがあり、印象的で、大人から子供まで部分的にでも興味を持てるもの
- ② 見た目がきれいで、部屋に貼っておきたくなるもの
- ③ 基礎的・普遍的な科学知識を中心とするもの
- ④ 身近な物や事象との関連付けをして、親しみを持てるもの
- ⑤ A1判及びA2判サイズの両サイズにおいて、1枚で見やすいもの
- ⑥ 身のまわりでいつも科学の発展と恩恵を意識してもらえようなもの

#### ◇学習資料「一家に1枚」の配布先

令和7年度の科学技術週間(毎年、「発明の日」である4月18日を含む月曜日に始まり日曜日に終わる1週間)にあわせて、学習資料「一家に1枚」を制作し、**全国の小学校・中学校・高等学校、大学等に配布するとともに、科学館や博物館等の配布協力機関を通じて配布を予定しています**(無償配布。令和6年度配布実績:約32万枚)。

令和6年度配布協力機関はこちら。

[https://www.mext.go.jp/stw/common/pdf/event/20240423-ope\\_dev03-1.pdf](https://www.mext.go.jp/stw/common/pdf/event/20240423-ope_dev03-1.pdf)

### 2. 募集内容

令和7年4月の第66回科学技術週間に向けて制作する、令和7年度版学習資料「一家に1枚」の**テーマ及び企画・企画者、制作者及び監修者(以下、「監修チーム」という。)**を募集します。

ポスターのデザイン、特設サイトのWebデザイン・構築、動画の制作に関する専門的事項については、専門の業者に協力をいただくことを予定しており、文部科学省はそれら業者の選定の他、ポスターの印刷、全国への配布を行います。**監修チームには、全体構成、内容の執筆や専門用語の解説等を中心に、当該テーマの専門家として執筆・監修や、必要な連絡調整をお願いすることとなります。**

#### 2. (1) テーマ及び企画について

今までにない速度で変化する社会を生きていく子供たちに、これからの未来をつくる科学技術や将来必要な能力とは何かについて考えるきっかけの一つとして役立つ企画を募集します。

#### 【分野について】

昨今の社会情勢や、科学技術・イノベーション政策の動向等を踏まえ、令和7年度に相応しい「一家に1枚」を制作するため、以下のとおり重視する分野を設けます。審査においては、これらの重視する分野を踏まえており、令和7年度に制作することが相応しいものであるかどうかを重視しますので、分野が明確になるようにテーマの説明を記載し、「令和7年度に制作する理由」についても明確に記載してください。

### <重視する分野>

1. 防災科学技術（自然災害のメカニズム解明や防災・減災に関する科学技術）
2. 量子技術（量子力学に基づく量子の性質を積極的に操作・制御、利活用する量子コンピュータ、量子センシングなどの技術）
3. 上記以外の分野で、昨今の社会情勢や、科学技術・イノベーション政策の動向等を踏まえ、令和7年度に制作することが相応しいもの

（参考）上記分野は、以下の要件を満たす分野の中から、文部科学省において検討し設定を行ったものです。

- ・科学技術・イノベーション政策その他各種政策における重要な分野であること
- ・上記に加え、何らかの節目であったり、国際的なキャンペーンが行われていたりするなど、「令和7年度」に実施されることが重要な意味を持つこと

※既存の学習資料「一家に1枚」の内容との一部重複について

これまでに制作した20作の学習資料「一家に1枚」と内容の一部重複がある企画も提案可能です。審査においては、令和7年度に制作することが相応しいものであるかどうかを重視します。

### 【制作方針について】

以下の制作方針を踏まえて、企画案を検討してください。審査においても、これらの方針を踏まえた提案になっているかどうかを重視されます。

- ・科学技術の専門知識や、科学への高い関心を持たない一般の方や子供たちにとって、わかりやすく、社会や身近なものとの関連が見えることで関心が持てるようなポスターを目指します。
- ・対象学年については、基本的に小学2年生の学習内容を履修した子供が理解できるものとします。ただし、対象学年未満の児童も関心に応じポスターを読めるような配慮（例えば振り仮名など）を行うことを予定しています。
- ・児童・生徒がタブレット端末等を活用して行う探究学習等にも活用可能とすることを想定し、「一家に1枚」と合わせて制作する特設ウェブサイトや動画等を効果的に活用し、利用者の関心に応じて、必要に応じ詳細な内容にもアクセス可能とするなど、幅広く活用できるようなものとすることを予定しています。
- ・情報を詰め込むのではなく、効果的に見せる・伝えることを意識したポスターの制作を想定しています。ポスターにおいて伝えるべき内容のストーリーを意識して、掲載すべき情報を吟味し、効果的に紹介いただくような企画を期待します。
- ・A1判及びA2判の通常のポスター用紙に印刷し、学校や家庭等で掲示される形を基本的な活用形態

として想定しています（特殊な用紙や印刷方法を活用する提案は実現困難です）。

## **2. (2) 監修チームの要件について**

監修チームに求める要件は以下のとおりです。（○…必須要件 ※…推奨要件（応募上必須ではありませんが、審査における加点要素となります））

### **【全般】**

○科学技術と社会との関係の深化に熱意をもって取り組むことができること。

### **【体制】**

○企画・制作・監修を行う上で十分な体制を有すること。以下の体制を基本としますが、より充実した体制とする観点からこれ以外の体制とすることも可能です。

—代表者：監修チーム全体の連絡調整や進行管理、文部科学省他関係者との連絡調整

—企画・制作者：ポスターのテーマ全般に関する十分な知見のもと、全体の執筆作業を行う（組織または個人。必要に応じ複数）

—監修者：ポスターのテーマ全般に関する十分な知見のもと、記載内容の科学的な正確性を担保する（必要に応じ複数）

※所属組織による主体的な関与など、充実した体制を歓迎します。

○体制には、上記に加え以下の要件を満たす者を含め、その意見を制作に反映すること。

—博士後期課程学生等の若手研究者（若手研究者の発想を最大限生かす観点）

—科学技術コミュニケーションに関する知見を持つ者（科学技術と社会との連携を効果的に図る観点）

※より効果的に制作を進める観点から、以下の要件を満たす者を体制に含めることを推奨します。

—学校教育における現場の知見を持つ者

—デザイン、ウェブ制作や動画編集に関する専門的知見を有する者

○提出時に上記体制のうち一部が未定である場合には、遅くとも2次審査（後述）までに監修チームのメンバーを決定し、文部科学省へ追加連絡すること（採択後に監修チームのメンバーを追加することは妨げないが、審査はあくまで審査時点で確定している情報のみで行われることに留意すること）。

### **【制作にあたっての留意事項等】**

○下記「今後のスケジュール」に記載のとおり、令和6年9月から令和7年3月にかけて、平日の日中に、関係者との打ち合わせ等を含め、ポスター等の制作に関する様々なやり取りを行うため、監修チームの代表者を含むメンバーが本業務へ十分なエフォートを割くことができること。（必要に応じ、本業務への対応に係る所属長宛の依頼文の発出等の対応が可能です。）

○文部科学省から制作にあたり謝金等の支払いは行わないことを了解の上、制作に携わることができること。

○学習資料「一家に1枚」本体に加え、令和7年度科学技術週間告知ポスター（学習資料「一家に1

枚」とデザインや内容を連動させたものとするを予定)の制作及び学習資料「一家に1枚」の内容をより詳しく解説する特設ウェブサイトや、「一家に1枚」の内容をPR・解説するための動画の制作にも同様に携わること。

○制作にあたり、文科省内外関係者の意見を踏まえ、文部科学省から具体的な修正依頼等を行う場合があり、その場合は当該依頼を踏まえて協議の上、修正等を行うことに同意すること。

○制作にあたり、対象年齢の子供を中心とした一般聴衆の意見を聞く機会を設け、その意見を制作に活用することに同意すること。(当該機会の具体的な日時等については、応募時点で決定していることを必須とはせず、詳細は採択後に文部科学省と協議の上決定する)

○文科省からの依頼に基づき、科学技術週間中及びその前後の期間に開催される関連イベントを含め、学習資料「一家に1枚」及び科学技術週間に関する広報に協力できること。

※上記広報への主体的な取組について、具体的な提案を歓迎します。

○本応募要領への記載の有無に関わらず、制作にあたり疑義等が生じた場合は、その都度文部科学省と協議して解決すること。

### 3. 応募方法

以下のとおり、必要書類を準備し、文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課宛てにメール及びMicrosoft Formsへの入力により提出してください。これ以外の提出方法は受け付けられません。

【応募締切日時】令和6年7月15日(月)18時(※必着・締切厳守)

【提出方法(1. 2. の両方を必須とします)】

1. メールにより以下アドレスへ必要書類を添付して提出

[stw@mext.go.jp](mailto:stw@mext.go.jp)

2. 以下フォームへ、「応募用紙」と同一の内容を入力

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=sBBYVMs2kEKJJKjbwPnpLzzEWMEedWtBj5YVGpjSZqpUODkyMDJHWERBRlc5TkNaTOU1TU5VV1NBUy4u>



(注意事項)

・フォームの入力完了後、「回答が送信されました。」と記載されたページが表示された段階で、応募完了となります。通信の不具合などにより上記ページが確認できない場合は、再度同一の内容を入力し、必ず「回答が送信されました。」と記載されたページの表示を確認してください。(誤って送信してしまった場合なども、再度入力をお願いします)

・事務局において上記の締め切り日時までに提出が確認できた提案に限り、応募されたものとみなします。メールに関して、受信確認の連絡等は原則として行いませんので、必ずフォームへの入力をお願いします。

#### 【必要書類】

応募用紙（別紙フォーマットに、必要事項を全て記載し、PDF形式で提出してください。記載事項に不備がある場合、選考の対象とならない場合があります）  
監修チームメンバーの略歴（PDF形式、必要がある場合。複数者の略歴を添付する場合は、1つのPDFファイルに統合してください）  
その他補足説明資料（必要に応じ）

#### 4. 選考方法・審査の観点

企画の選考は、外部有識者を含めた企画選考委員会にて行い、企画提案者による提出書類を踏まえた審査（1次審査）、その結果を踏まえたプレゼンテーションによる審査（2次審査）を予定しています。1次審査の結果は、7月末を目途に、提案者へご連絡いたします。2次審査は現状、8月5日（月曜日）午後を予定しており、オンラインを想定しております。2次審査の詳細は、1次審査を通過した提案者へ別途お知らせいたしますが、以下の書類を提出いただくことを予定しております。

##### <2次審査に向けて提出いただく書類（予定）>

###### ・プレゼンテーション資料

※以下の要素を盛り込んでいただくことを想定しています。

- 実際のポスター紙面のイメージ
- 全体構成や掲載予定の内容についての説明
- 科学に関する専門知識や関心が少ない方の関心を喚起する方策
- 特設ウェブサイト等を活用した探究学習等への展開手法
- （ある場合）制作にあたり、対象年齢の子供を中心とした一般聴衆の意見を聞く機会についての具体的な提案
- （ある場合）制作後の学習資料「一家に1枚」及び科学技術週間に関する広報についての提案

なお、企画選考委員会に参加する外部有識者については、文部科学省において適切な利益相反マネジメントを実施します。

#### 【審査の観点】

企画選考委員会における選考については、上記2の要件を満たしている提案に関して、以下の観点から行います。

##### <テーマ・企画>

- ・「2. (1) テーマ及び企画について 【分野について】」の趣旨を踏まえ、令和7年度版学習資料「一家に1枚」のテーマとしてふさわしいものが選定されており、令和7年度に制作する理由が明確であるか。
- ・「2. (1) テーマ及び企画について 【制作方針について】」の内容を踏まえ、
  - ・科学技術の専門知識や、科学への高い関心を持たない一般の方や小中学生等にとって、わかりやすく、社会や身近なものとの関連が見えることで関心が持てるような企画となっているか。
  - ・特設ウェブサイトや動画等を効果的に活用し、利用者の関心に応じて、必要に応じ詳細な内容にもアクセス可能とするなど、幅広く活用できるような明確なアイデアが提示されているか。

- ・情報を詰め込むのではなく、効果的に見せる・伝えることを意識した企画案となっているか。

### ＜監修チームの体制等＞

- ・代表者、企画・制作者、監修者等の役割分担が明確であり、充実した体制となっているか。
- ・若手研究者、科学技術コミュニケーションに関する知見を持つ者を体制に含み、その知見を効果的に活用する体制となっているか。
- ・(加点要素) 学校教育における現場の知見を持つ者、デザイン、ウェブ制作や動画編集に関する専門的知見を有する者を監修者チームに含めている場合は加点する。
- ・(加点要素) これまでに監修チームの主要メンバーが科学技術コミュニケーションに関して豊富な経験をもち、その経験を効果的に活用する計画となっている場合は加点する。
- ・(加点要素) 制作にあたり、対象年齢の子供を中心とした一般聴衆の意見を聞く機会について具体的な提案がなされている場合は加点する。
- ・(加点要素) 制作後の学習資料「一家に1枚」及び科学技術週間に関する広報について、具体的かつ主体的な内容の提案がある場合は加点する。

### 6. 選定後のスケジュール・留意事項

- ・企画の選定後、学習資料「一家に1枚」の制作を開始します。具体的なスケジュールは以下「今後のスケジュール（予定）」のとおりです。
- ・**企画が採用された監修チームには、文部科学省及び、文部科学省が指定する関係機関と密に連携をとりながら、制作を主体的に進めていただくこととなります。**
- ・デザインがある程度できた段階で、特設ウェブサイトやPR動画についても制作を主体的に進めていただきます。
- ・ポスターのデザイン、特設サイトのWebデザイン・構築、動画の制作に関する専門的事項については、専門の業者に協力をいただくことを予定しています。**監修チームには、全体構成、内容の執筆や専門用語の解説等を中心に、当該テーマの専門家として執筆・監修や、必要な連絡調整をお願いすることとなります。**

#### 【留意事項】

- ・学習資料「一家に1枚」全体の著作権は、文部科学省に帰属することとなります。
- ・ポスター制作にあたり監修チーム以外から画像提供等を受ける場合の著作権処理については、原則として監修チームで実施いただくこととなります。
- ・本応募要領への記載の有無に関わらず、制作にあたり疑義等が生じた場合は、その都度文部科学省と監修チームで協議して対応を決定することとします。

#### 今後のスケジュール（予定）

令和6年度	7月15日18時	: 企画募集締切
	7月下旬～8月末頃	: 企画選考委員会による選考、テーマ決定 ※1次審査結果通知 7月末 ※2次審査 8月5日(月)
	9月上旬～1月頃	: 「一家に1枚」本体制作
	2月初旬～3月中旬	: 印刷用版下の納品、印刷物の納品
	3月下旬	: 配布協力機関、教員委員会等へ発送 : 文部科学省より令和7年度「一家に1枚」 プレス発表
令和7年度	4月上中旬	: 教育委員会等を通じ全国の小中学校等へ配布

主に科学技術週間中 : 配布協力館等で一般の方に配布  
: 科学技術週間イベントの実施

※「一家に1枚」のデザイン作成状況を踏まえ、並行して令和7年3月末までに特設ウェブサイトや解説動画等の制作を予定。



## これまでの学習資料「一家に1枚」シリーズについて（全20種類）

（対象の科学技術週間における年度表記）

下記の学習資料「一家に1枚」シリーズは、文部科学省科学技術週間ホームページ (<https://www.mext.go.jp/stw/index.html>) よりダウンロードが可能です。是非御参照ください。

### （1）一家に1枚 元素周期表（平成17年度）

[https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/286184/www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/17/03/05040801.htm](https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/286184/www.mext.go.jp/b_menu/houdou/17/03/05040801.htm)

制作・著作：文部科学省 企画・制作：(株)化学同人 監修：日本化学会、日本物理学会、日本薬学会、日本微量元素学会、高分子学会、応用物理学会 企画協力：玉尾皓平（京都大学・理化学研究所）、桜井弘（京都薬科大学）、寺嶋孝仁（京都大学）、竹内敬人（神奈川大学）、(株)化学同人

### （2）一家に1枚 ゲノムマップ（平成18年度）

[https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/286184/www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/18/04/07032614.htm](https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/286184/www.mext.go.jp/b_menu/houdou/18/04/07032614.htm)

監修：文部科学省、著作・販売：科学技術広報財団、企画：文部科学省科学研究費・特定領域研究「ゲノム」4領域、企画協力：藤山秋佐夫（国立情報学研究所）、加藤和人（京都大学）、制作：京都大学大学院生命科学研究科・生命文化化学研究室

### （3）一家に1枚 宇宙図（平成19年度）

[https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/286184/www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/19/03/07032611.htm](https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/286184/www.mext.go.jp/b_menu/houdou/19/03/07032611.htm)

監修：文部科学省、日本天文学会天文教材委員会、著作・販売：科学技術広報財団、企画：国立天文台、天文学普及プロジェクト「天プラ」 制作：「一家に1枚宇宙図」制作委員会

### （4）一家に1枚 光マップ（平成20年度）

[https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/286184/www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/20/04/08040301.htm](https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/286184/www.mext.go.jp/b_menu/houdou/20/04/08040301.htm)

制作・著作：文部科学省、監修：河田聡（理化学研究所）、制作：河田聡、藤田克昌、庄司暁、協力：NPO法人フロンティア・アソシエイツ、河田芹菜

### （5）一家に1枚 天体望遠鏡400年（平成21年度）

[https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/8315890/www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/21/03/1256605.htm](https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/8315890/www.mext.go.jp/b_menu/houdou/21/03/1256605.htm)

制作・著作：文部科学省、監修：日本天文学会天文教材委員会、企画：国立天文台、制作：「一家に1枚天体望遠鏡400年」制作委員会

### （6）一家に1枚 未来をつくるプラズマ（平成22年度）

<https://www.mext.go.jp/stw/common/pdf/series/plasma/words.pdf>

制作・著作：文部科学省、制作・監修：プラズマ科学連合プラズママップ制作委員会、企画・編集：プラズマ科学連合、(株)荒川印刷

**(7) 一家に1枚 磁場と超伝導 (平成23年度)**

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kagaku/week/1304965.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/week/1304965.htm)

制作・著作：文部科学省、企画・監修：低温工学協会、

制作協力：下山淳一（東京大学）、石山敦士（早稲田大学）、沼澤健則（物質・材料研究機構）、淡路智（東北大学）、廿日出好（豊橋科技大）

**(8) 一家に1枚 太陽 (平成24年度)**

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kagaku/week/1319433.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/week/1319433.htm)

制作・著作：文部科学省、企画・監修：天文教育普及研究会

制作協力：一家に1枚「太陽」制作委員会

**(9) 一家に1枚 鉱物 (平成25年度)**

[https://warp.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/11293659/www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/25/03/1332662.htm](https://warp.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/11293659/www.mext.go.jp/b_menu/houdou/25/03/1332662.htm)

制作・著作：文部科学省、企画・監修：日本鉱物科学会、

制作協力：一家に1枚「鉱物-地球と宇宙の宝物-」制作ワーキンググループ

**(10) 一家に1枚 動く！タンパク質 (平成26年度)**

[https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/9283846/www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/26/03/1346105.htm](https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/9283846/www.mext.go.jp/b_menu/houdou/26/03/1346105.htm)

制作・著作：文部科学省、企画・監修：日本生物物理学会、

制作協力：一家に1枚「動く！タンパク質」制作ワーキンググループ

**(11) 一家に1枚 くすりの形 (平成27年度)**

[https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/10324187/www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/27/03/1356269.htm](https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/10324187/www.mext.go.jp/b_menu/houdou/27/03/1356269.htm)

制作・著作：文部科学省、企画・監修：上杉志成（京都大学）、土佐尚子（京都大学）、

飯吉透（京都大学）、制作協力：京都大学物質・細胞統合システム拠点、京都大学化学研究所

**(12) 一家に1枚 水素 (平成28年度)**

[https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/10324187/www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/28/03/1367083.htm](https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/10324187/www.mext.go.jp/b_menu/houdou/28/03/1367083.htm)

制作・著作：文部科学省、企画・制作：大友季哉、宇佐美德子、餅田円、大島寛子（高エネルギー加速器研究機構）、監修：折茂慎一（東北大学 WPI-AIMR/金属材料研究所）、阿部仁、池田一貴、岩野薫、木村正雄、熊井玲児、千田俊哉、山田和芳（高エネルギー加速器研究機構）

**(13) 一家に1枚 生きものすべては細胞から (平成29年度)**

[https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/10324187/www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/29/03/1383221.htm](https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/10324187/www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/03/1383221.htm)

制作・著作：文部科学省、企画：京都大学 iPS 細胞研究所、

制作・監修：中内彩香（京都大学 iPS 細胞研究所）、遠山真理（総合地球環境学研究所）、

野口悦（大阪大学大学院医学系研究科）、川上雅弘（奈良先端科学技術大学院大学）

(14) 一家に1枚 量子ビームの図鑑（平成30年度）

[https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/11269830/www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/30/04/1403558.htm](https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/11269830/www.mext.go.jp/b_menu/houdou/30/04/1403558.htm)

制作・著作：文部科学省、企画・制作・監修：安居院あかね、鈴木國弘、足立恵美子  
（量子科学技術研究開発機構）

(15) 一家に1枚 日本列島7億年（平成31年度）

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/31/04/1414445.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/31/04/1414445.htm)

制作・著作：文部科学省、企画：一般社団法人日本地質学会、  
監修・アートディレクター：辻森樹（東北大学）、磯崎行雄（東京大学）

(16) 一家に1枚 南極（令和2年度）

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/2020/mext\\_00168.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/2020/mext_00168.html)

制作・著作：文部科学省、企画・制作・監修：本吉洋一、江尻省、橋田元、渡辺佑基、  
中村卓司、野木義史、富川喜弘、川村賢二、三浦英樹（大学共同利用機関法人情報・システム研究機構  
国立極地研究所）

(17) 一家に1枚 海（令和3年度） ※特設ウェブサイトや動画あり

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/2020/mext\\_00063.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/2020/mext_00063.html)

制作・著作：文部科学省、企画・制作・監修：JAMSTEC（大河内直彦、豊福高志、  
田村貴正、市原盛雄、外崎瞳、藤本憲章、麻生達也、新田洋一朗他）、  
写真提供：JAMSTEC、長崎大学、協力：国土交通省

(18) 一家に1枚 ガラス（令和4年度） ※特設ウェブサイトや動画あり

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/2021/mext\\_00101.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/2021/mext_00101.html)

制作・著作：文部科学省、  
企画・制作・監修：国際ガラス年日本実行委員会、産業技術総合研究所、  
写真提供：日本セラミック協会（GIC）、AGC（株）、日本電気硝子（株）他

(19) 一家に1枚 ウイルス（令和5年度） ※特設ウェブサイトや動画あり

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/2022/mext\\_00002.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/2022/mext_00002.htm)

製作・著作：文部科学省、企画：国立研究開発法人理化学研究所、  
製作監修：「一家に1枚 ウイルス」製作チーム、製作協力：日本ウイルス学会他、  
図版・写真提供：国立感染症研究所、奈良県立万葉文化館 他

(20) 一家に1枚 世界とつながる“数理”（令和6年度）※特設ウェブサイトや動画あり

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/2022/mext\\_00020.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/2022/mext_00020.htm)

制作・著作：文部科学省、企画・監修：国立研究開発法人理化学研究所数理創造プログラム（iTHEMS）  
制作：理研 iTHEMS「一家に1枚 世界とつながる“数理”」制作チーム

## 令和7年度版学習資料「一家に1枚」 企画案

<b>1. テーマ名 及び 副題</b>			
◇ (テーマの説明) ※100字以内			
<b>&lt;重視する分野&gt;への該当</b> ※以下から選択し1~3の番号を右に記載			
1. 防災科学技術 (自然災害のメカニズム解明や防災・減災に関する科学技術)			
2. 量子技術 (量子力学に基づく量子の性質を積極的に操作・制御、利活用する量子コンピュータ、量子センシングなどの技術)			
3. 上記以外の分野で、昨今の社会情勢や、科学技術・イノベーション政策の動向等を踏まえ、令和7年度に制作することが相応しいもの			
<b>1-2. 令和7年度に制作する理由 (合計300字以内)</b>			
◇政策上の意義			
◇「令和7年度」に制作する必要がある理由 (周年など)			
<b>2. 監修チーム体制</b>			
※博士後期課程学生などの若手研究者については、所属末尾に<若手>と記載してください。			
※科学コミュニケーションに関する知見を持つ者については、所属末尾に<科コミ>と記載してください。			
※教育現場における知見を有する方、デザイン等に関する専門的知識を有する方については、所属末尾に(現役教師)(Web デザイン実務経験者)などの形で記載してください。			
※略歴等に関し、公開されている URL がない場合、別途ご提出ください。			
<b>役割 (代表者、監修者、制作者 等)</b>	<b>氏名または組織名</b>	<b>現所属</b>	<b>略歴等 URL (researchmap 等)</b>
<b>3. 実施体制についての補足</b>			
(本企画の実施にあたり組織としての関与はどの程度あるかなど、制作を進める上での体制について上記以外の事項をご記入ください。)			

<p><b>4. 科学技術コミュニケーションに関する実績</b>  監修チームのメンバーの、これまでの科学技術コミュニケーションに関する主要な実績をご記入ください  (参考資料別添可)</p>
<p><b>5. その他 特記事項</b>  ※制作後の学習資料「一家に1枚」及び科学技術週間についての広報について、主体的な提案がある場合は本欄に記載してください。  ※対象年齢の子供を中心とした一般聴衆の意見を聞く機会について具体的な提案がある場合は本欄に記載してください。</p>
<p><b>6. 連絡先 (原則として監修チーム代表者の連絡先を想定しています)</b></p>
<p>(組織名)  (部署名)  (氏名)  (電話)  (E-mail)</p>

※ 選考結果については、上記連絡先に連絡いたします。また、選考前に別途資料を求める場合がありますので、連絡先は必ず御記入願います。